

Kyoto Hollywood News 京都ハリウッド通信



助六(真田広之)は、頼まれもしなのに仇討ちとあれば自分勝手に助太刀するのを何よりも楽しみしている男。しかし今度は勝手が違った。助六の目の前で討たれた仇は、顔も知らぬ助六の父親だった…。真田広之が一週間で6キロ体重を落としての渾身の役作りに注目

真田広之「陰陽師」に 引き続きデ・ニーロ 顔負けの役作り

東宝映画「助太刀屋助六」(公開中)

大ヒットとなった「陰陽師」で陰陽師・道尊を熱演した真田広之は、「陰陽師」の撮影が終了して、たった一日休んだだけで次回作となる「助太刀屋助六」の撮影に臨んだ。二つの作品に相次いで出演した、それぞれ役作りをしなければならなかった訳だが、実は「陰陽師」では監督の要望で6キロ増やした体重を、「助六」のためにわずか1週間ですべて戻したという。

出演映画の役柄に応じて自在にウエイトコントロールをしてみせる役者としては、ロバート・デ・ニーロが有名。アル・カポネ役を演じた「アンタツチャブル」では、体重を増やした上に、禿げ上がった頭髪を作るために、額の髪を剃らずに抜いている。もともと「主役を食ってし

まう」という評の多いデ・ニーロ、「陰陽師」では真田が主役の野村萬斎を完全に「食った」あたりでデ・ニーロは？
ともあれかのデ・ニーロに勝るとも劣らない入れ込み様。しかも今回は食うも食わぬも堂々の主演。まさしく全力投球の全編にあって、特に4分間という驚異的な長廻しのシーンでは、自然の演技にスタッフや共演者たちから拍手が起こった程。

松田優作…この世を去ってからも衰える事のないその人気。彼の主演した数多くの作品が「松田優作プロジェクト」として大々DVD化。その中で見逃せないのが京都で撮影された時代劇「ひとごころ」(76年・大映)。原作は山本周五郎の同名小説で、松田優作は奇策によって上意討ちを成し遂げる悪病な侍を好演。「木枯し紋次郎」や「子連れ狼」などTV・映画を問わず、今なお好評を博す出演作。20年前の20代からも現在の20代からも圧倒的な支持を得続ける希有な存在



松田優作…この世を去ってからも衰える事のないその人気。彼の主演した数多くの作品が「松田優作プロジェクト」として大々DVD化。その中で見逃せないのが京都で撮影された時代劇「ひとごころ」(76年・大映)。原作は山本周五郎の同名小説で、松田優作は奇策によって上意討ちを成し遂げる悪病な侍を好演。「木枯し紋次郎」や「子連れ狼」などTV・映画を問わず、今なお好評を博す出演作。20年前の20代からも現在の20代からも圧倒的な支持を得続ける希有な存在

蘇る松田優作・傑作時代劇「ひとごころ」

松田優作…この世を去ってからも衰える事のないその人気。彼の主演した数多くの作品が「松田優作プロジェクト」として大々DVD化。その中で見逃せないのが京都で撮影された時代劇「ひとごころ」(76年・大映)。原作は山本周五郎の同名小説で、松田優作は奇策によって上意討ちを成し遂げる悪病な侍を好演。「木枯し紋次郎」や「子連れ狼」などTV・映画を問わず、今なお好評を博す出演作。20年前の20代からも現在の20代からも圧倒的な支持を得続ける希有な存在

レビ時代劇で活躍していた大洲斎監督の劇場映画デビュー作で、本作で京都映画新人監督賞を受賞した。悪病者の若侍・六兵衛(松田優作)は、誰も引き受け手のない上意討ちを買って出る。相手は剣術と槍の名人・仁藤(丹波哲郎)。旅先で仁藤と対面した六兵衛は、いかに強そうなのに仁藤を見て、思わず「人殺し!」と叫んでしまう。以降、六兵衛は悪病者ならではの作戦で仁藤を追い詰めて行く。

石坂寛門、監督・脚本に携る! 現在放送中の水戸黄門(毎週月曜夜8時・TBS系放送)で、放映日未定だが黄門様を演じる石坂寛門自ら監督、脚本に携る事となった。画家や作家としても才能を発揮する石坂が、この「黄門」を見せるのが期待される。また前シリーズで黄門様の命を狙った次郎坊(コロッケ)が今回は再び登場。目撃証人として出陣後、文化人が登場する。更に元禄時代の登場人物が登場する。今回の特徴で、佐川満男が松田優作、藤原龍也が井原西鶴を、桂三枝が近松門左衛門を演じている。

インディーズから株式会社へ! 西田特撮研究所



大冒険にお使いの魔女っ子セナ。左の悪魔はセナを助ける。

その西田特撮研究所の最新作が「魔女っ子セナ」。魔界に住むバット一族の魔女っ子セナ(石井美菜)はある日、王様のお使いで人間界にやって来た。久々の人間界でハメを外してしまったセナが慌てて用事を済ませたその前に、お腹を空かした怪人イェデーが現れて、主演の石井美菜ちゃんは14歳で、ドラマやCMで活躍の他、梅田コマ劇場「北島三郎特別公演」にも出演した実力派。

「前作は歴史に沿った作品にしたい」という気持ちで始めましたが、黄門様というコケというイメージが強いので、今回はそれを尊重する事にしました。前作を体験して助さん格さんちが成長しました。彼らのよきがもって登場出来るシリーズにしたいと思っています。自分の監督、脚本作品が出た事が嬉しいです。女の監督を主人公にした作品を構想中ですので楽しみにして下さい。(石坂浩二)

以前紹介した、京都のインディーズ・ムービー集団「西田特撮研究所」が株式会社として新たな一歩を踏み出した。代表の西田知史氏は東映京都撮影所社員として美術の仕事をする傍ら、精力的に特撮を取り入れた美少女アクション作品を製作していたが、遂に一念発起、昨年8月に独立して株式会社西田特撮研究所を発足。「京都を拠点に作品をつくり続ける」と、休日返上で作品作りに打ち込んでいる。



「魔女っ子セナ」(VHS・税抜き3500円) 問い合わせは西田特撮研究所 (TEL・075-622-9309) まで

「白犬とワルツを」
「男はつらいよ」などの巨匠・山田洋次監督が初の時代劇に臨む「たそがれ清兵衛」が3月中旬から松竹京都映画撮影所でクランク・インする。原作は藤沢周平の同名小説。出演は真田広之、宮沢りえ他。

服部大ニ監督デビュー作「くノ一忍法伝 華艶淫火」発売

以前にお知らせした松竹京都映画撮影所演出部の服部大ニ監督の監督デビュー作「くノ一忍法伝 華艶淫火」女淫血風抄」が完成。3月にビデオが、4月にはDVDがリリース。発売に先立つ2月16日、東京のBOX東中野にて劇場公開もされた。またスクリーン上の竹内美年子さんが監督を務めた「くノ一忍法伝 魔物の館」女淫血風抄」もビデオ・DVD共に発売。好評レンタル中。若い才能を投入して続々と新作を予定する「くノ一」シリーズの今後の展開に注目!



服部大ニ監督「くノ一忍法伝 華艶淫火」女淫血風抄」小堀 島田沙羅 / 及川奈央 / 華嶋崎 / 岸野小 / 他。ビデオ 3月12日よりレンタル開始。DVD (税抜き) 2800円。4月26日発売

今月の言葉

諸事情により今月か3月にリリースされた「くノ一」シリーズはこの1ページに収められ、連載されていたきた。さて、年が明けてからマイペースな進行スケジュールになるかと思いきや、CS系京都チャンネルで連続ドラマ5本を製作する事に、放送が夏と、それから準備や作業日程を逆算するとかかりギリギリの状況。ギリギリでリリースと買が痛い。

2002年3月1日 山田誠二

責任編集 山田誠二

1963年生まれ。京都を拠点に、映画のプロデューサー、脚本、評論の他、コミック原作など多方面で活躍の作家。映画関連著作多数執筆。